

芸術文化祭受賞者

《美術部門》

※敬称略

市文化協会長賞

工芸 上原昭

菊川文化協会長賞

書 地原理加

豊田文化協会長賞

イラスト 新本淳貴

豊浦文化協会長賞

書 福永美佳

豊北文化協会長賞

工芸 簀河原正敏

審査員特別賞

日本画・洋画 平山智佳

書 齊藤敏江

工芸 西山史子

写真 杉本邦夫

イラスト 佐藤博美

市議会議長賞

イラスト 上本雅



教育長賞

版画・水彩画等 富永知奈美



大賞

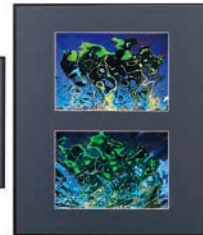
版画・水彩画等

前野法広



市長賞

写真 谷口功



芸術文化振興奨励賞受賞者

芸術文化の分野で高い水準の創作活動を続けている将来性がある個人、団体に授与するもの



音楽部門・作曲等

音楽家 織田浩司さん

下関市出身、神奈川県在住。サクソフォン・フルート奏者で、作詞・作曲・音楽プロデュースなど、活動は多岐にわたり、音楽文化の振興に貢献している。

下関の景色は特別で、いつも気になる街です。

母校の豊浦高校に入学した時、吹奏楽部員は6人。学校には音楽の授業もなく、初心者だらけで指導者のいない自主運営でした。しかし、仲間を増やし、2年後に第1回の定期演奏会を開催することができました。会場の予約から広告、会計等すべて自分たちでやったのを覚えています。今思えば、校風がおおらかで先生や先輩方が後押ししてくれたのだと思います。

当時、私の夢は高校の教員に

なり音楽を教えることでしたが、人生不思議なもので、今は演奏家になり、BIG HORNS BEE（米米CLUB）などで活動する傍ら、下関をはじめ全国の吹奏楽部の子どもたちを指導したり、プロのオーケストラの皆さんと活動をしています。

コロナ禍、世界中で音楽活動が制限される日々が続きました。音楽は、心のワクチン。今は合奏できること、お客さまと音楽を楽しめることが喜びです。このような賞を受け、感謝と共に勇気を頂きました。

SHIMONOSEKI ARTS

《文芸部門》



大賞 短歌 金澤萬里

過疎進む村に稲刈るコンバイン
戦車のごとき五台が競ふ

市長賞 川柳 中村芳子

残された課題楽しく老いること

市議会議長賞 俳句 坂本悦子

精一杯生きて卒寿や終戦日

教育長賞 俳句 前田富美枝

終息の願ひ届けよ流れ星

文化連合会長賞

短歌 大井文子

小中学生川柳優秀賞

▼勝山中学校2年

黒川結菜

▼西市小学校1年

池田彩実

▼勝山中学校2年

春日心翔

▼豊田下小学校4年

村井凧沙

▼勝山中学校2年

本村華英



美術部門・写真

写真家 野村佐紀子さん

下関市出身、東京都在住。
写真家荒木経惟氏に師事し、
人物や花、風景などを捉えた
写真で、国内をはじめ海外で
も高く評価されている。

1 993年26歳から活動を
始めて、今までに200回程
の展覧会を開催してきました。

そして今年、故郷下関で初めて
大規模な展覧会を下関市立美術
館で開催し、たくさんの方にご
来場いただきました。この展覧
会の制作の過程で改めて下関と
向き合い、今まで気が付かな
かった下関の別の側面を見つけ
ることができました。

私は18歳まで、海に囲まれた
街が、どんな街なのか、どれだ
け美しいかなど、あまり考えず
に下関で暮らしていました。し
かし、その下関はいつもどんな
時も私にとって大切な街でした。
今、東京で暮らしていて、下
関に帰ってくると、その度に少
ずつ見える風景も変わってい

くことに気がきます。

この度下関でこのような賞を
いただき、大変光栄です。大き
く背中を押していただきました。
今まで以上に愛情を込めて、大
切に、下関に流れる時間をカメ
ラに収め続けていきたいと思っ
ます。



▷「海1967-2022 下関東京

出版社 リトル・モア

30年以上撮り続けた写真と小説家田中
慎弥による書き下ろし短編小説も収録。
市立美術館で販売中。